

平成 24 年度 いきいき健康プランにつきん 21 第 2 回推進委員会議事録

日 時：平成 25 年 3 月 8 日 月曜日 午後 2 時から午後 3 時 40 分

場 所：日進市保健センター 2 階会議室

出席者：＜委員＞

大澤功、塚本有里、早川真人、中井英貴、藤原薫、波多野了、亀井千代子
齋藤信子、深津いさ子、鈴木義尊、小室勢子、鶴飼佳代子、石川敦司、林輝夫
秋田ゆかり

＜その他＞

県健康づくり振興事業団あいち健康の森健康科学総合センター健康開発部
副班長（以下 1 名）

アンケート調査委託業者（株）サーベイリサーチセンター企画課課長

＜事務局＞

市民生活部担当部長、健康課長（以下 6 名）

欠席者：＜委員＞

大野 忠夫

（順不同）

傍聴の可否：可

傍聴の有無：無

議 事

事 務 局	開会のあいさつ及び傍聴者の確認
	傍聴者なし
事 務 局	委員 1 名変更と委嘱書、出席者について説明。 それでは、次第により進めさせていただきます。始めに大澤委員長にあいさつをお願いします。
委 員 長	あいさつ
事 務 局	ありがとうございました。 議題の進行につきましては、いきいき健康プランにつきん 21 推進に関する規則により、委員長にお願いいたします。
委 員 長	議題 1 平成 24 年度いきいき健康プラン推進事業実施状況について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	資料No.1 に沿って説明
委 員 長	続いて、議題 2 平成 25 年度いきいき健康プラン推進事業実施計画について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	資料No.2 に沿って説明
委 員 長	議題1、2についてご意見、ご感想がありましたらお願いします。
	なし
委 員 長	それでは、ここでにつきん体操の実技があるそうですので、事務局に一旦お渡しします。
	につきん体操実技（もっとスローテンポ版にてゆったり版）
委 員 長	続いて、議題3 計画の最終評価と第二次計画について、事務局から説明をお願いします。

事務局	資料No.3-1に沿って説明 続きまして、アンケート調査をまとめていただいたサーベイリサーチセンターの方から報告をお願いしたいと思います。
サーベイリサーチセンター	資料No.3-2に沿って説明
事務局	資料No.3-3に沿って説明 本日は愛知県健康づくり振興事業団の方にお越しいただいておりますので、何か一言コメントをお願いできますでしょうか。
県健康づくり振興事業団	次期計画に向けて、日進市の健康課題に沿った目標を設定したいというご要望に対してデータ収集のお手伝いをさせていただいております。アンケート調査の結果により客観的なデータがありますので、そのデータから現状の把握をしっかりしていきたいと考えております。データには、過去からのものもあり、過去から現在の推移をみることで、10年後の推測もある程度できるので、その中で課題が見えてくるのではないかとことです。さらには、愛知県ですとか同じような自治体と比較することによって、日進市が抱えている健康課題が明確になると考えております。これから目標設定をするにあたりまして、1期というのはデータに基づいた目標設定はなかなかしづらかったと思いますが、今の現状を踏まえてどのあたりに目標をもっていくのかという現実的な目標設定につながっていくものと考えております。そして、さきほどの意識調査のアンケート結果もありますので、そこと併せた形で評価ができていくといいと思います。どうしても市町村ですと、性、年代別に分けていったときに非常に数が少ない中での評価ということになるので、そのあたりも慎重にみていく必要があると考えております。そして、その課題や目標とマッチングしたこれからの対策、具体的な行動計画を作成していくことがとても大事だと思っております。これまで日進市が行ってきている保健事業や社会資源を活用しながら、市民の方ですとか関係者の方、さらには健康課というひとつの課だけでなく他の課とともに連携しながら展開していくというのが、今回示された健康日本21の新計画だと認識しております。従いまして、このような推進会議というのは非常に大事な役割を担っていると感じておりますし、私たちもしっかりさらにお手伝いできたらと考えております。よろしくお願ひします。
事務局	議題3 計画の最終評価と第二次計画について説明
委員長	それでは議題1から議題3について、せっかくですので順番にみなさんのご意見、ご感想を伺いたしたいと思います。
委員	計画がしっかり考えられているという印象です。にしん体操はもっともっとゆっくりでも良い。アンケートが一番ほしいところの回収率が良くないのが残念。
委員	計画立案が良い。
委員	老人クラブ世代では遅すぎると思う。講演会でももっと若い世代に話したいとよく講師に言われる。
委員	老人クラブ世代が遅すぎることはない。今ある健康を維持するために頑張ってください。運動普及推進員としては、保健センターと連携して支援していきます。
委員	食生活改善推進員としては、平成24年度も子どもたちに対して朝食の大切さを伝えることができた。食改善講座を開催してもらい、平成25年度は20名以上増える予定です。ますます頑張りたい。

委員	言葉は大事だと感じている。65歳で自ら高齢者と思っている人は少ない。高齢者と呼ぶのは65歳ではなく70歳からにしたほうが良い。社会の中心を担う30から50代の人の意見、要望を聞き取れる工夫をしてほしい。
委員	体操、マップ、サポーターについて、子どものほうがよく知っている。母親世代に広めていけるようにしていきたい。
委員	スポーツ推進委員としては、スポーツセンターの行事に参加している子を、日進の10年後、20年後を支えてくれる子だと微笑ましい気持ちで見ている。
委員	中学校でもにしん体操を広めていきたいが、中学からはストレッチが中心になってくるのでなかなか難しい。保護者への周知とともに、普及に努力したい。
委員	消防署としては、9分野のうちの安全の分野として、救命救急講習をより多くの人に受けていただけるよう、プログラムを工夫しながら実施中。
委員	アンケートの回収率がすばらしい。意識は高いので、行動につなげる工夫をしてほしい。20代、30代の働く世代の男性がどうして運動できないのか、どうしたらできるのかなど聞き取れると良い。
委員	今日初めて出席させていただき、にしん体操や健康づくり、タバコ対策など、市としての様々な取り組みや計画を知り、驚いた。薬剤師会としては、禁煙サポートなどを通じてお役に立ちたい。
委員	口の中と体の健康と、タバコとの関連は高い。ガンのリスクも高くなるが、歯周病もですね、吸う人と吸わない人では歯の減りに差があると言われているし、歯槽膿漏のひどい人は糖尿病になりやすく、逆に糖尿病のひどい人は歯周病になりやすいというデータもあるので、こういったデータを明確に示しながら、啓蒙していけるといい。
副委員長	アンケートを記入できた人、返してくれた人は、少なくとも意識があるということด้วย。アンケートの記入ができなかった人たちこそ拾い上げないといけない。朝ごはんについては、ただ食べていけばいいのか疑問。内容はどこまで重視したらいいのか。
委員長	ありがとうございました。最後に事務局から。
事務局	お一人ずつ貴重なご意見をありがとうございました。
	これを持ちまして第二回の推進委員会を終了させていただきます。

(午後3時40分終了)